

平成 22 年 11 月 18 日

あきる野市議会議長 様

あきる野市議会議員 山根トミ江

一 般 質 問 通 告 書

次の事項について、会議規則第 63 条第 2 項により質問の通告をします。

質 問 事 項	質 問 要 旨 (箇 条 書)
(1) 公民館等の公共施設使用料軽減について	現在、あきる野市内においては、スポーツや文化、芸術など数多くの団体があり、多くの市民が公民館をはじめとする公共施設を利用して活動を行っている。そうした中、利用者から、例えば集会室などは1時間800円では負担が重すぎる、使用料を軽減してほしいとの声が寄せられている。社会教育法や、公民館の目的からも、多くの市民がこうした活動に参加しやすくなるよう、公共施設の使用料を軽減すべきと思うがどうか。
(2) 横田基地米軍機の騒音対策について	① 東京の5市1町にまたがる横田基地は、713万平方メートルの広さで、沖縄を除くと面積で日本最大の米空軍基地である。 在日米軍再編で府中にある自衛隊航空総隊司令部が横田基地内に移転計画が進められている。そうした中、あきる野市においても、草花、二宮、小川、野辺地域など米軍機が頻繁に飛び、周辺住民から米軍機の騒音の苦情が多数寄せられている。市はこのような状況を把握しているか。 ② 米軍機の騒音に対して、騒音測定器を設置するなどの対策をとるべきと思うがどうか。 ③ 苦情など、どこに言ったらよいのかわからないという声があるが市としては、苦情を受け

<p>(3) あきる野市の公共交通の今後の方向性について</p>	<p>付ける窓口はあるのか。</p> <p>本年9月議会の全員協議会において、庁内職員で構成するあきる野市循環バス等地域交通検討委員会の報告書が示された。報告書で示された公共交通の今後の方向性について以下質問する。</p> <p>① 「るのバス」について22年度以降も1台で運行し、今まで通行できなかった地域への対応、一部コースの見直しも考えるとあるが、具体的にはどのようなところを見直ししていくのか。</p> <p>② 交通空白地域に対する対策として、地域住民との連携による新たな手法導入を検討するとの方針が示された。新たな手法とは具体的にはどのような運行方法を想定しているのか。また、実施はいつ頃の予定なのかなど、具体的な日程はどのようなになっているか。</p>
----------------------------------	---